

思い出を残してあげたい

▼大きい学校に小さい学校が吸収されるといいうのでなく、普代の子が鳥茂渡小に来るとか、逆の発想はどうなのか。鳥茂渡小はどこへ行っても自慢できる教育活動をやっている。地域の協力も大きい。そういう学校がなくなるのは寂しいが、学年が一人というのは子どもがかわいそう▼「鳥茂渡小はなくなるんですか」と、子どもに聞かれる。どう返事をすればよいのか**教育長**Ⅱ（なくなると）そうとらえて子どもたちの不安をなくするよう対処してほしい



不安を隠せない様子の皆さん

▼カリキュラムを組んでいるものとして、これから先が見えない。鳥茂渡小は他にないくらいいろいろなことに取り組んでる、その中で子どもたちにいるんな思い出を残してあげたい▼スクールバスの対応を十分にしてほしい▼地元としてこれからどういうことをやったらよいか **教育長**Ⅱこの地区説明会で正式に統合をお示しした中で、今後学校や地域の皆さん、そして教育委員会などと話し合いを深め、いろいろお願ひしていきたい。記念誌の発刊もその一つとなる▼検討委員会はどこから辺まで検討していくのか。どういう組織なのか **教育長**Ⅱ統合を決めるのではなく、学校の再編についてどうあるべきかなどの検討を重ねながら、今後とも必要に応じて諸課題に対応して委員会としての検討を続けていく▼鳥茂渡小の統合に際し、校舎は普代小を利用するのか **教育長**Ⅱ普代小の利用となる



「子どもたちにいい思い出を残してあげたい」という気持ちと、先が見えない不安が交差しました

統合場所は決まったのか

▼全村1校を目指す平成21年度というのは、どういう根拠なのか **教育長**Ⅱ鳥茂渡小を例外的に19年度統合とし、検討委員会でいろいろな意見はあったが、20年度統合は現実には難しく、諸課題への対応などを考慮して21年度を目指す▼鳥茂渡小が19年度の統合となると、あと7カ月だけである。どの程度まで鳥茂渡の人たちに話がされているのか。鳥茂渡の状況を見た段階で私たちがいろいろ考えていくことがある **教育長**Ⅱ8月24日に鳥茂渡地区で説明会がスタートした。空き校舎とかスクールバス利用など、これからの話し合いになる。すべては今からというところ▼新



お母さん方も積極的に参加

聞を見て（統合問題の記事）ショックだった。ここまで来ていたんだと。決定した事項の公表の時期とか方法を、わたしたちが、地域がキャッチしながら子どものケアを考えていかなければならない。準備が2年は長いようで短い。村当局としても十分考慮していただきたい▼子どもたちの意見を聞くことも大事ではないか **助役**Ⅱ子どものケアを十分考慮し、将来の学校の方向は大人が責任を持って取り組むべきである▼統合により先生の異動による子どもたちの影響が心配だ▼統合の場所（全村統合）はどこか決まっているのか。場所が決まってから説明会をやるべきでなかったか **助役**Ⅱ子どもの安全を最優先し、防災上、交通の面などから今後総合的に検討していく▼統合に当たって、総論賛成であるが、場所のこともなどで賛否が出てくる。全村一校の段階に行った時、時間がかかるだろう